

3 学校教育目標・指導の重点

1 学校教育目標

「健康で、笑顔がすてきな子」

- 自分の生活の中から課題を見つけ、それを体験的・行動的に解決できるようにします。
(知)
- 互いのよさを認め合い、自分らしく生きようとする子どもの意欲を引き出します。
(徳)
- 生命の大切さに気づくとともに、自分も他者も大事にし、健康でたくましい体と心が育つようにします。
(体)
- 自分ができることを考え、主体的に地域社会にかかわっていけるようにします。
(公)
- 様々な人とのコミュニケーションをとおり、国際社会への視野を広げるようにします。
(開)

2 方針および設定の理由

(豊かな心をはぐくむ)

- ◎ 体験的な活動や感動する機会を多く設け、思いやりや優しさのある子どもを育てます。
みんなが楽しく過ごせる学校にするために、子どもたちの思いを広げ、豊かな人権感覚を育成できるようにします。具体的な体験を大切にし、その中から助けあいや協力しあう気持ちを育てていきます。

(学力の向上を目指す)

- ◎ 基礎・基本の定着の上に、具体的に問題を解決できる力の充実を目指します。
どの子にも笑顔が出てくるには、まず基礎・基本を確実に習得し自分なりに学習が分かったという充実感が大切です。そして、実際に身近な問題解決に役立ったという有用感が学習意欲をさらに高めます。こうした学習サイクルの実現を目指します。

(健康づくりを進める)

- ◎ 生きる力を育むために、友達とのふれあいや人間関係を大切に心と体の健康づくりを進めます。
子どもたちの笑顔のもととなるのは、たくましい身体です。全ての基礎になる健康な心と体を子どもたちの自主的な活動を通して育てていきます。

(開かれた学校をつくる)

- ◎ 家庭や地域と周辺校の連携を深め、開かれた信頼される学校づくりを進めます。
すてきな笑顔は、友達や先生、地域の方々との交流の中から生まれます。情報を交換することから、活動を通して、実際に触れ合う中での連携を進めていきます。

3 重点的な取り組み

① 教育課程

- ・ ベースカリキュラムを基につくられた本校の教育課程の改善を進めます。
- ・ T Tや少人数授業、交流授業、合同授業等様々な授業形態を試行します。

② 進路指導

- ・ ブロック内の中学校を中心に幼・保や各小学校との連携を図ります。
- ・ キャリア教育の位置づけを明確にし全体計画を作成します。

③ 児童指導

- ・ 児童一人一人をよく把握し、課題をとらえて効果的な指導を進めます。
- ・ 縦割り活動の課題を明らかにし、内容の充実を図ります。

④ 保健管理

- ・ 健康や体力についての関心を高め、日常生活に生きる健康づくりを進めます。

⑤ 安全管理

- ・ 学援隊の拡充を図るなど、学校の安全について、地域、保護者の支援体制の充実を図ります。

⑥ 特別支援

- ・ 特別支援コーディネーターを中心に個別支援計画等を明確にし指導法を向上させます。
- ・ 校内委員会での情報交換、支援方法の協議等を充実させ、各機関等との一層の連携を進めます。

⑦ 組織運営

- ・ 職員室等のP C環境を向上させ校内事務の効率化を進めます。

⑧ 研究研修

- ・ 授業研究を中心とした重点研究を行い、理科・生活科等の授業力を向上させます。
- ・ 大型T V等の機器の活用方法を学びI C Tを授業に生かします。

⑨ 地域連携

- ・ 地域の方や保護者などの協力を得て授業支援、学校の公開を進めていきます。
- ・ P T A、学援隊、読み聞かせボランティア等、学校にかかわる支援者の拡大と結集を図ります。

⑩ 教育環境

- ・ 教育環境の再点検を進め、計画的な補修等を行っていきます。